

公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和7年8月28日（木）に開催された。

1 決裁事項

- ・ 苦情処理結果通知（回答）書の作成・送付について
- ・ 特例施設占有者の指定について
- ・ 自動車学校において発生した不適正事案の行政処分について
- ・ 警察職員の特別派遣について（同意書）

2 報告事項

(1) 苦情の取扱いについて（令和7年7月中）

県警察から、令和7年7月中の苦情の取扱いに関する報告があった。

7月中の苦情受理件数は5件（公安委員会宛て2件、警察宛て3件）とのことであった。

委員から、「苦情の取扱いについては、引き続き、しっかりと調査の上、報告していただきたい。」との発言があった。

(2) 秋田県警察拳銃射撃競技大会の開催について（令和7年度）

県警察から、令和7年度秋田県警察拳銃射撃競技大会の開催に関する報告があった。

9月11日、秋田県警察学校射撃場において、拳銃の射撃技能向上と士気の高揚を目的とした県警察拳銃射撃競技大会を開催する。

大会には、本部5チーム及び警察署14チームが出場する団体競技、男性個人決勝競技、女性個人決勝競技を行い、日頃の訓練における成果を競い合うとのことであった。

委員から、「全国的に凶器を用いた重大事件が発生しているため、いざという時のために拳銃の射撃技能向上に努めていただきたい。」、「出場選手には、訓練の成果を存分に発揮していただきたい。」との発言があった。

(3) 令和7年秋田県議会第2回定例会（9月議会）提出の議案について

県警察から、令和7年秋田県議会第2回定例会（9月議会）提出議案に関する報告があった。

提出議案は、「警察官等の被服及び装備品に関する条例の一部を改正する条例案」、「予算関係議案」、「交通事故等に係る和解及び損害賠償の専決処分報告」とのことであった。

委員から、「県議会の理解が得られるよう丁寧に説明していただきたい。」「交通事故等に係る損害賠償事案については、再発防止のために指導教養を徹底していただきたい。」との発言があった。

(4) 秋田竿燈まつり雑踏警備の実施結果について

県警察から、秋田竿燈まつり雑踏警備の実施結果に関する報告があった。

8月3日から8月6日までの間、秋田竿燈まつりが行われ、4日間の来場者数は約103万人であった。

開催期間中、各日とも警察職員が雑踏警備等に従事し、酷暑や大雨の中、無事完遂したとのことであった。

委員から、「主催者と連携し、今後も雑踏警備に万全を期していただきたい。」との発言があった。

(5) 大仙市協和地内における殺人事件被疑者の逮捕について（刑事部）

県警察から、殺人事件被疑者の逮捕に関する報告があった。

大仙市協和地内において発生した殺人事件の被疑者として、8月19日、大仙市居住の男性（51歳）を通常逮捕したとのことであった。

委員から、「引き続き、しっかりと捜査していただきたい。」との発言があった。

(6) 第34回暴力団壊滅秋田県民大会の開催について

県警察から、第34回暴力団壊滅秋田県民大会の開催に関する報告があった。

9月12日、あきた芸術劇場ミルハスにおいて、第34回暴力団壊滅秋田県民大会が開催される。

大会では、「暴力団が存在しない安全で安心して暮らせる秋田」を目指し、県民、事業者、関係機関・団体の連携と社会が一体となった暴力団排除意識の一層の強化・高揚を図るとのことであった。

委員から、「暴力団排除意識の強化・高揚を図る貴重な機会であり、是非参加させていただく。」との発言があった。

(7) 「交通事故のない秋田県の実現」に関する協定締結式の開催結果について

県警察から交通安全啓発活動等に関する協定締結式の開催の報告があった。

県警察では、8月25日、あいおいニッセイ同和損害保険会社、秋田ノーザンハピネッツ株式会社、日本生命保険相互会社秋田支社と「交通事故のない秋田県の実現」を目指した協定を締結した。

これから、交通安全啓発活動等に関して幅広く連携し、交通事故抑止に努めていくとのことであった。

委員から、「協定締結を皮切りに、交通安全啓発活動等に関して幅広く連携を図り、交通事故抑止につなげていただきたい。」との発言があった。

(8) 8月19日からの大雨被害について

県警察から、8月19日からの大雨に伴う体制、110番通報受理状況及び被害状況に関する報告があった。

委員から、「近年、県内における大雨被害が連続しており、危機感を持っている。」、「自然災害が発生した際、冷静に迅速な行動を取ることができるよう、各種訓練を続けていくことが大事である。」との発言があった。